

持っているだけじゃ意味がない！ ちゃんと装備するんだぞ！

ヘルメットを
そうびしますか？

▶ はい
いいえ



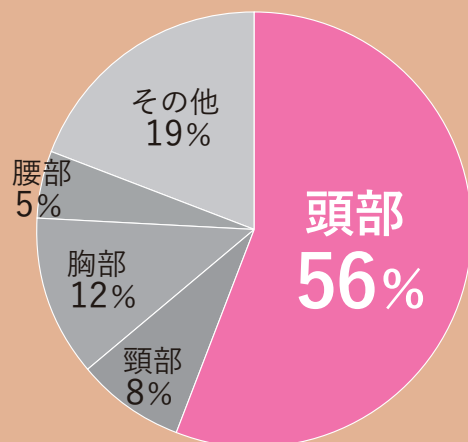
ヘルメット着用に関する法令

- 自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない。(道路交通法第63条の11)
- 自転車を利用する際は、乗車用ヘルメットの着用に努めること。(熊本市自転車の安全利用及び駐車対策等に関する条例 第5条)

ヘルメット着用で リスクもヘル(減る)！

自転車事故の際に最も致命傷になる箇所は頭部です。
ヘルメットを着用していれば助かったはず、
ということがないように、日頃からしっかりと着用しましょう。
また自分はもちろん、周囲にも呼びかけて
大切な命をみんなで守りましょう。

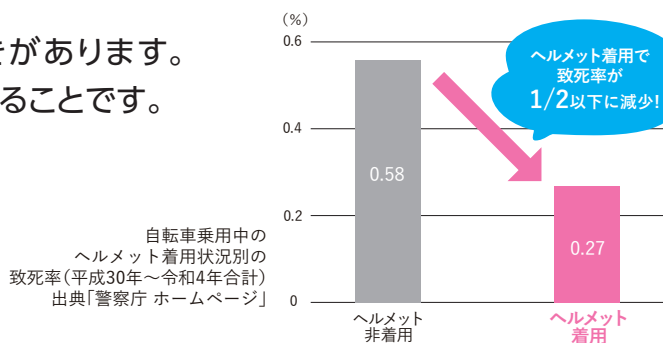
裏面も
見てみてね



自転車乗用中死者の人身損傷主部位（致命傷の部位）
（平成30年～令和4年合計） 出典「警察庁 ホームページ」

Q ヘルメットって効果あるの？

A 着用の有無で致死率に大きな開きがあります。
「あたま」を守るとは「いのち」を守ることです。



Q どんなヘルメットを選べばいいの？

A 道路交通法や市の条例では、ヘルメット着用に努めなければならないとされています。あたまを守るという観点から、より安全なものを選びましょう。ヘルメットにはさまざまな安全規格がありますので、詳しくは販売店等にご確認ください。

SGマーク	JCF公認／推奨マーク	CEマーク(EN1078)	CPSCマーク
(一財)製品安全協会が定める安全基準(SG基準)に適合する製品であることを認証されたものです。製品の欠陥による人身事故に対しては賠償措置が実施されます。	(公財)日本自転車競技連盟の安全基準に適合した製品であることを示しています。	すべてのEU加盟国の安全基準を満たす製品であることを示しています。中でもEN1078のみが自転車用ヘルメットの規格です。	アメリカ合衆国消費者製品安全委員会が定める安全基準です。

引用：(一財)日本ヘルメット工業会「自転車用ヘルメットに関する安全基準を満たす製品について(2023.8)」

また、同じメーカーでも様々なデザインやサイズが用意されています。自分に合ったサイズを選ぶようにしましょう。



Q ヘルメットの着用方法は？

A ヘルメット本来の機能を発揮するためには、正しい着用が必要です。

